

海田町の将来人口に関するアンケート調査結果 －概要版－

平成27年9月

海田町企画部企画課

～目 次～

第 1	調査の実施概要 -----	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査の実施方法と調査期間	1
4	アンケート回収状況	1
5	集計結果の表記	1
第 2	アンケート調査結果の概要 -----	2
1	住宅の所有関係	2
2	海田町での居住について	2
3	今後の居留意向等について	7
4	子どもの人数, 子育てについて	10
5	就労について	12
6	海田町の住みやすさについて	14

第1 調査の実施概要

1 調査の目的

本調査は、「人口ビジョン」及び「総合戦略」を策定するための基礎的資料として、居住や結婚・出産・子育て、就労などに関する意識などを把握し、計画に反映することが目的です。

2 調査対象

20～39歳の住民：1,981人【約7,000人から無作為抽出】

新規（過去5年程度）の住宅団地や分譲マンションにお住まい（ご購入）の住民：252人【全数調査】

高校生世代（15～18歳）の住民：882人【全数調査】

3 調査の実施方法と調査期間

ア 実施方法

上記対象者への無記名アンケート調査方式
郵便による、調査票の配布・回収

イ 調査期間

郵送配布：平成27年4月27日（月）

回収締切：平成27年5月20日（水）

※平成27年6月2日（火）到着分まで受付

4 アンケート回収状況

区 分	配布数	回収数	回収率
全 体	3,115 票	1,101 票	35.3%
20～39歳住民	1,981 票	665 票	33.6%
新規の住宅入居者	252 票	137 票	54.4%
高校生世代（15～18歳）	882 票	299 票	33.9%

5 集計結果の表記

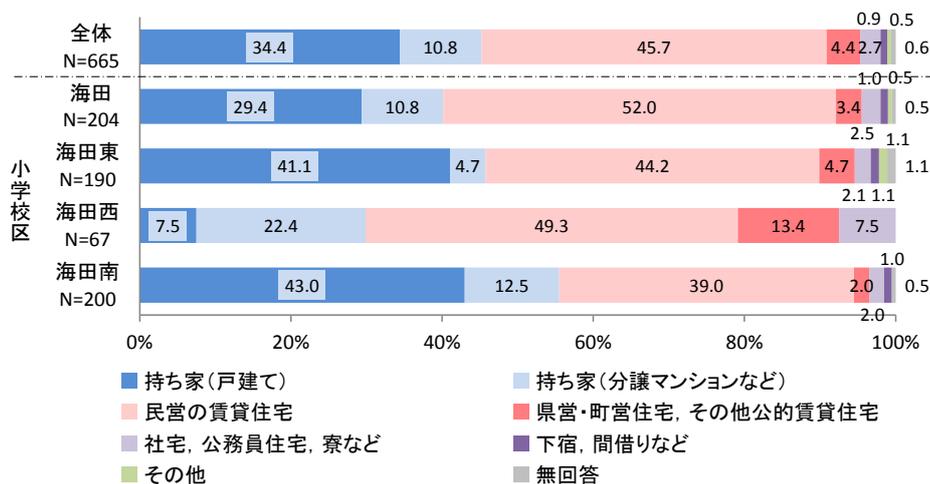
各回答の割合（％）は、少数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、端数処理の関係から、各回答の割合（％）の合計が100%にならない場合があります。

第2 アンケート調査結果の概要

1 住宅の所有関係

- 「民営の賃貸住宅」が45.7%で最も高い
- 「持ち家（戸建て）」と「持ち家（分譲マンションなど）」を合計すると45.2%で、「民営の賃貸住宅」とほぼ同率

図 住宅の所有関係（20～39歳住民）

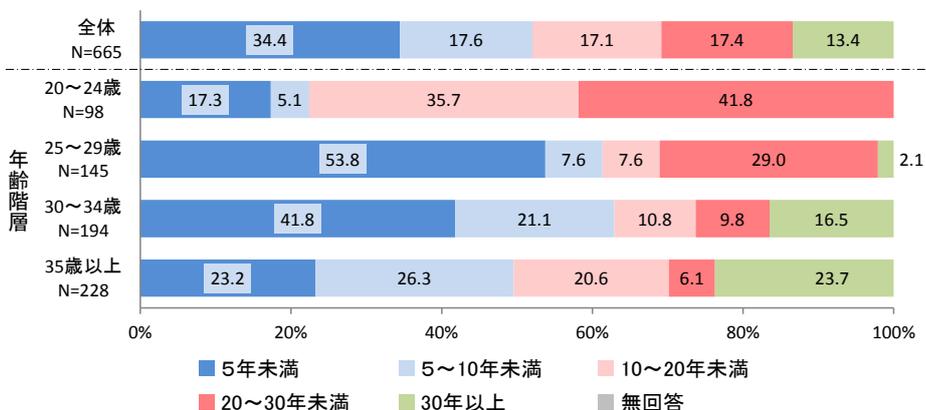


2 海田町での居住について

(1) 海田町での居住年数

- 「5年未満」が34.4%で最も高い
- 20～24歳では「20～30年未満」が最も高い
- 25～29歳では「5年未満」が最も高い

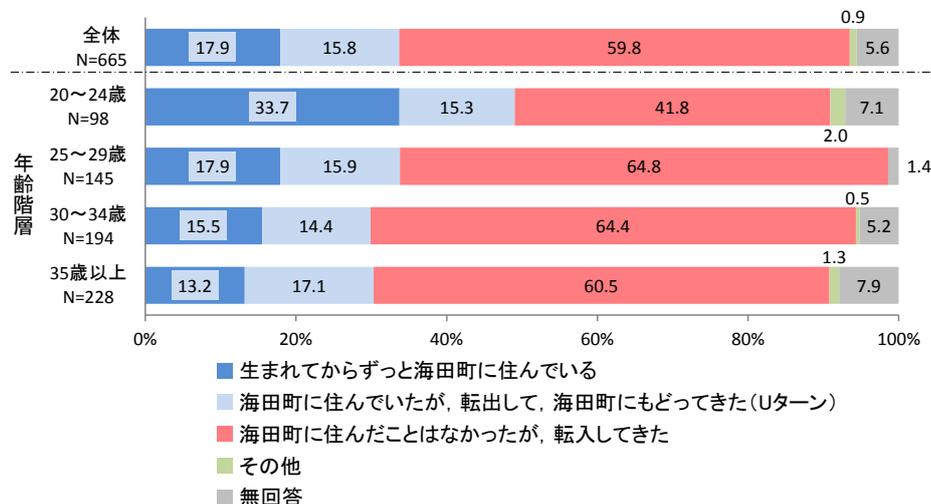
図 海田町での居住年数（20～39歳住民）



(2) 海田町における居住履歴

- 「海田町に住んだことはなかったが、転入してきた」が59.8%で最も高い
- 20～24歳で「生まれてからずっと海田町に住んでいる」が他の年齢層に比べて高い

図 海田町における居住履歴（20～39歳住民）

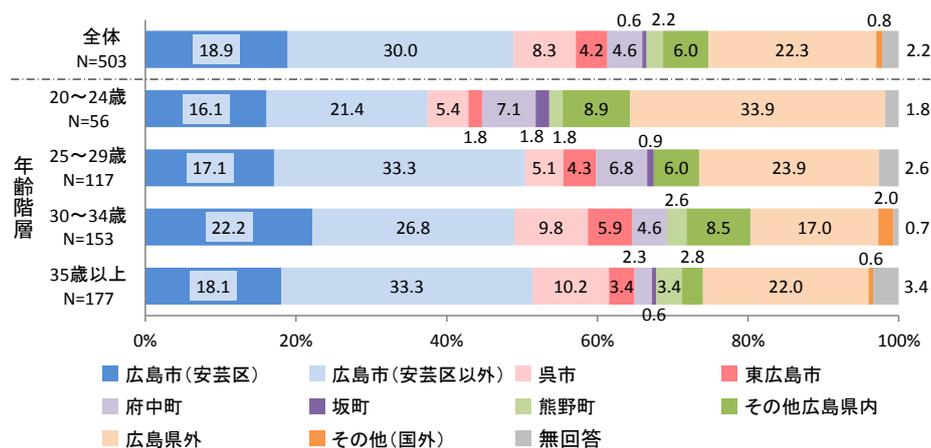


(3) 海田町に転入される前の居住地

（「海田町に住んでいたが、転出して、海田町にもどってきた（Uターン）」か「海田町に住んだことはなかったが、転入してきた」とした人）

- 「広島市（安芸区以外）」が30.0%で最も高い
- 広島市からの転入者が48.9%とおおよそ半数を占める

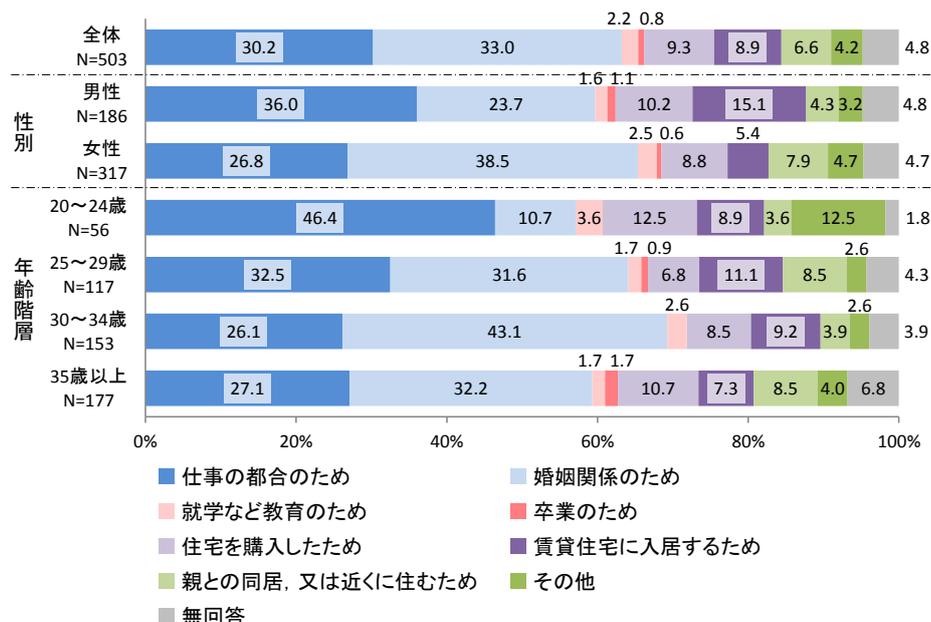
図 海田町に転入される前の居住地（20～39歳住民）



(4) 「海田町に戻ってこられた」または「新たに転入された」最も大きな理由
 (「海田町に住んでいたが、転出して、海田町にもどってきた(Ｕターン)」, 「海田町に住んだことはなかったが、転入してきた」とした人)

- 「婚姻関係のため」が33.0%で最も高い
- 「仕事の都合のため」も「婚姻関係のため」と同程度で、合計すると6割以上
- 男性と比べると女性で「婚姻関係のため」が高い

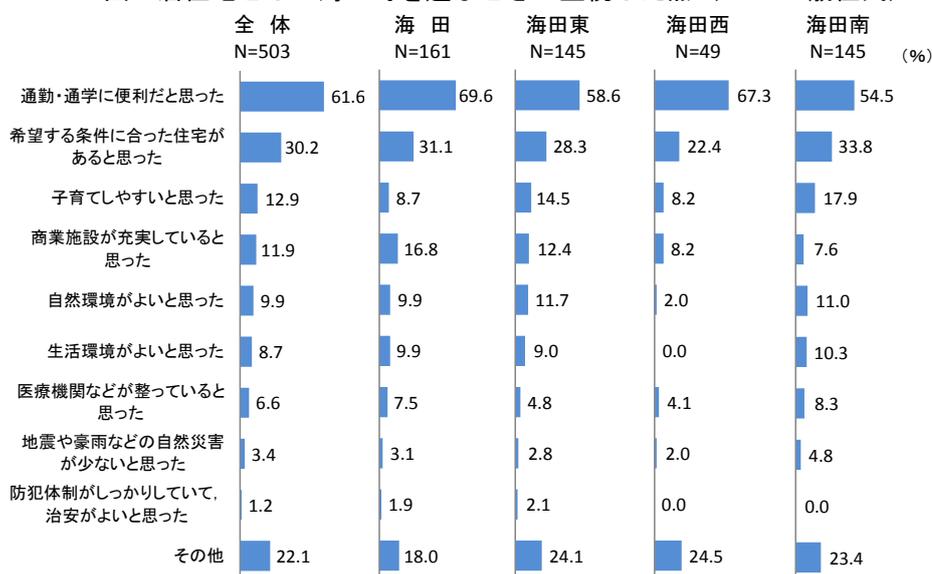
図 「海田町に戻ってこられた」または「新たに転入された」最も大きな理由 (20~39歳住民)



(5) 居住地として海田町を選ぶときに重視した点
 (「海田町に住んでいたが、転出して、海田町にもどってきた(Ｕターン)」, 「海田町に住んだことはなかったが、転入してきた」とした人)

- 「通勤・通学に便利だと思った」が61.6%で最も高い

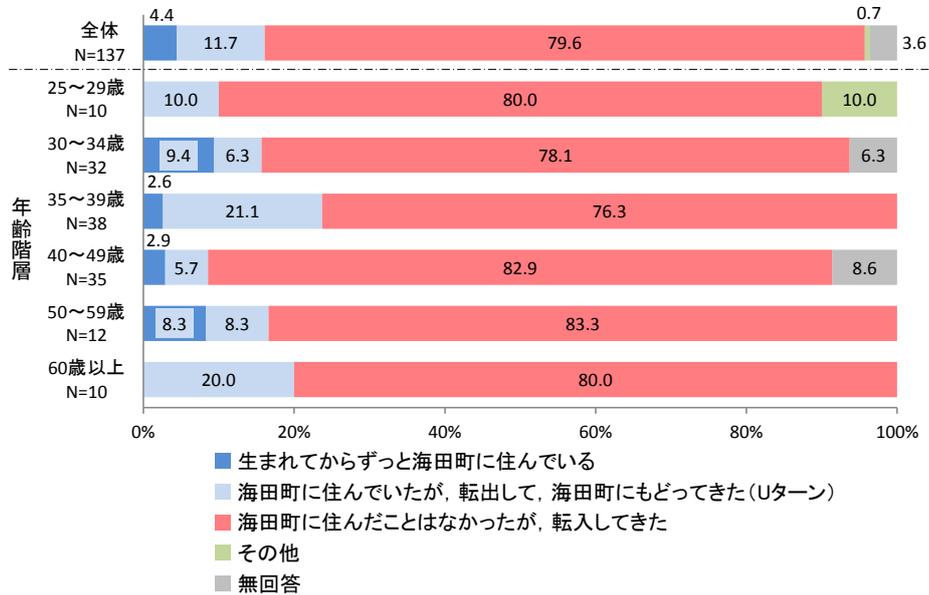
図 居住地として海田町を選ぶときに重視した点 (20~39歳住民)



(6) 新規の住宅入居者の海田町における居住履歴

○「海田町に住んだことはなかったが、転入してきた」が79.6%で最も高い

図 海田町における居住履歴（新規の住宅入居者）



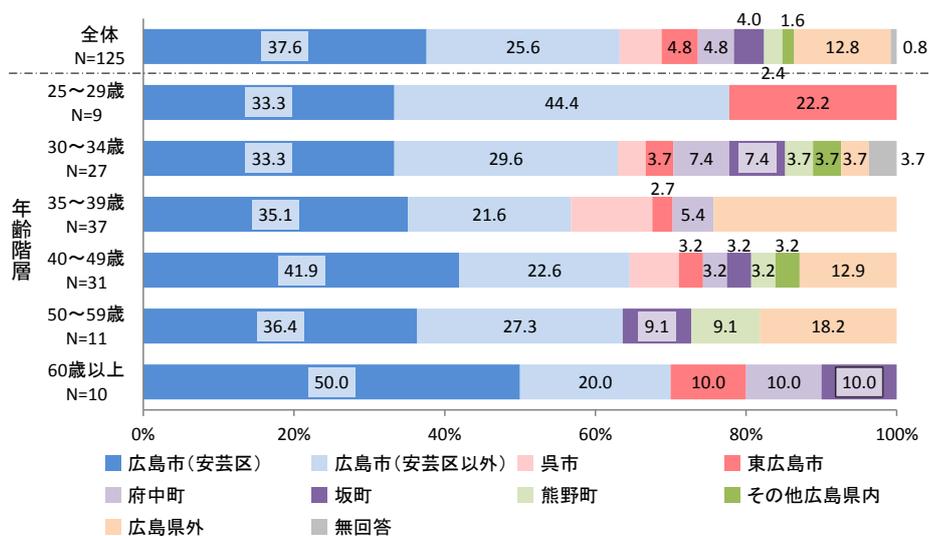
(7) 新規の住宅入居者の海田町に転入される前の居住地

(「海田町に住んだことはなかったが、転入してきた」, 「海田町に住んでいたが、転出して、海田町にもどってきた(Uターン)」とした人)

○「広島市(安芸区)」が37.6%で最も高い

○広島市からの転入者が6割以上

図 海田町に転入される前の居住地（新規の住宅入居者）

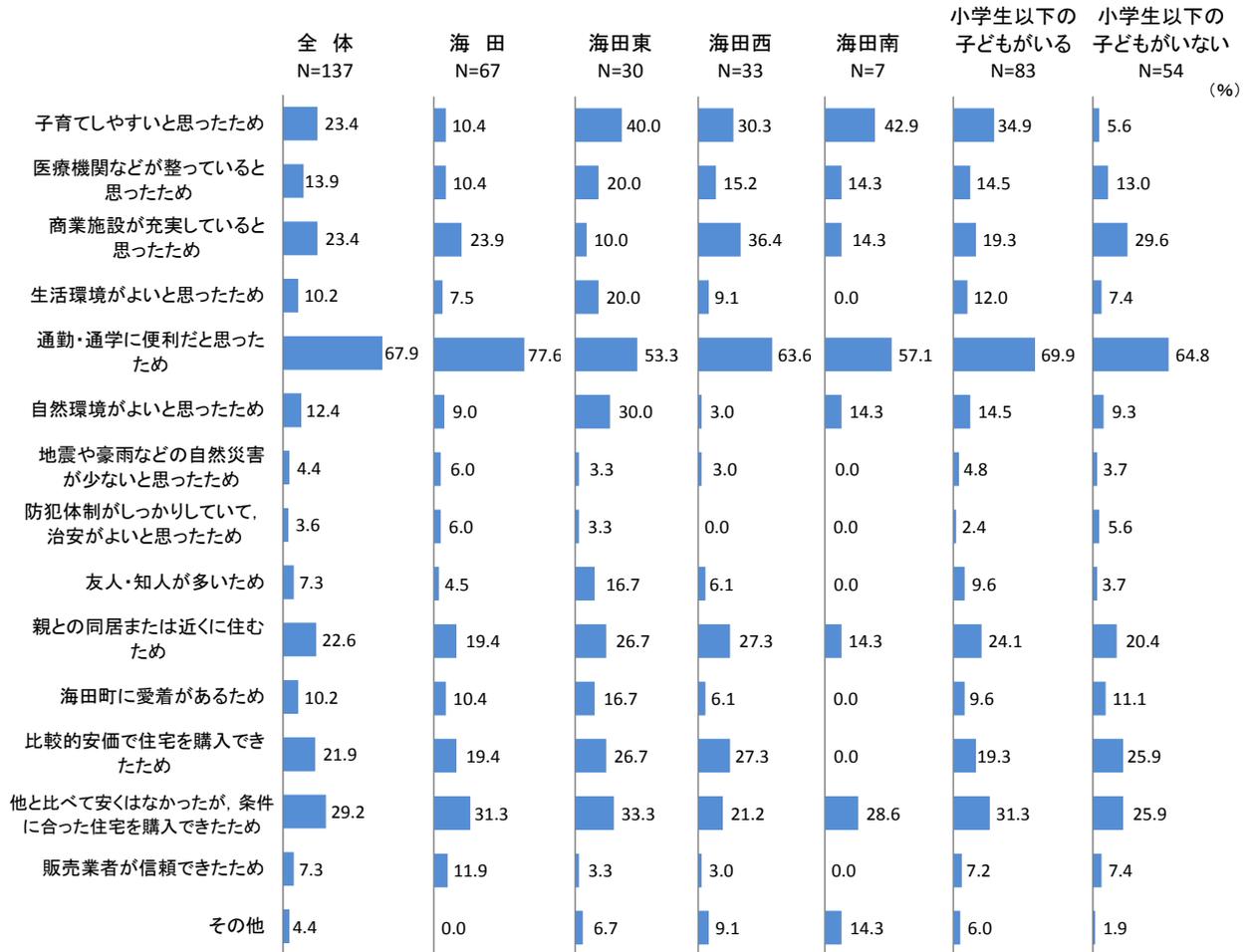


(8) 新規の住宅入居者の現在の住宅に住まわれた理由、重視した点

○「通勤・通学に便利だと思ったため」が67.9%と最も高い

○小学生以下の子がいるとした人では「子育てしやすいと思ったため」が34.9%と高い

図 現在の住宅に住まわれた理由、重視した点（新規の住宅入居者）

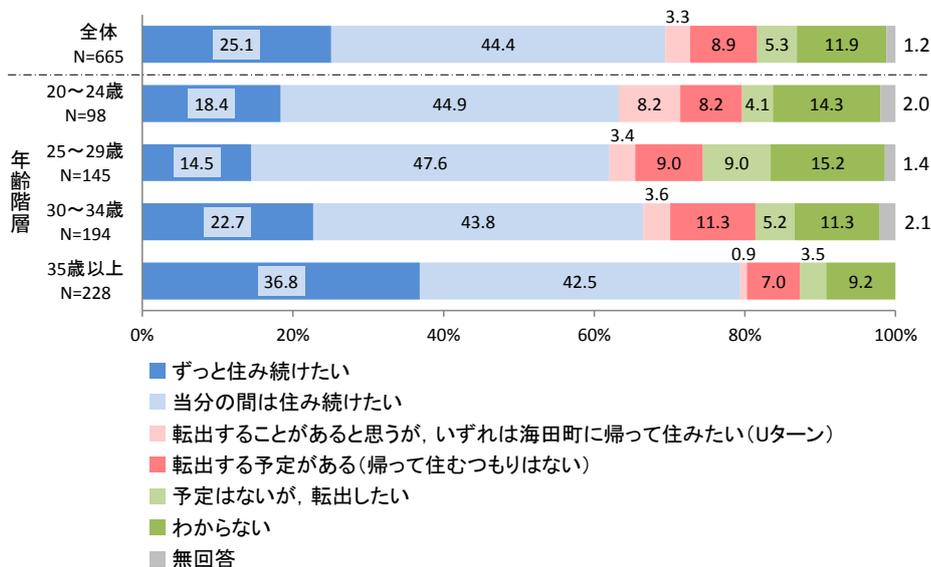


3 今後の居留意向等について

(1) これからも海田町に住みたいと思うか

- 「当分の間は住み続けたい」が44.4%で最も高い
- 35歳以上で「ずっと住み続けたい」, 「当分の間は住み続けたい」を合わせて約8割
- 35歳未満では, Uターン, 転出, わからないが合わせて3~4割

図 これからも海田町に住みたいと思うか (20~39歳住民)

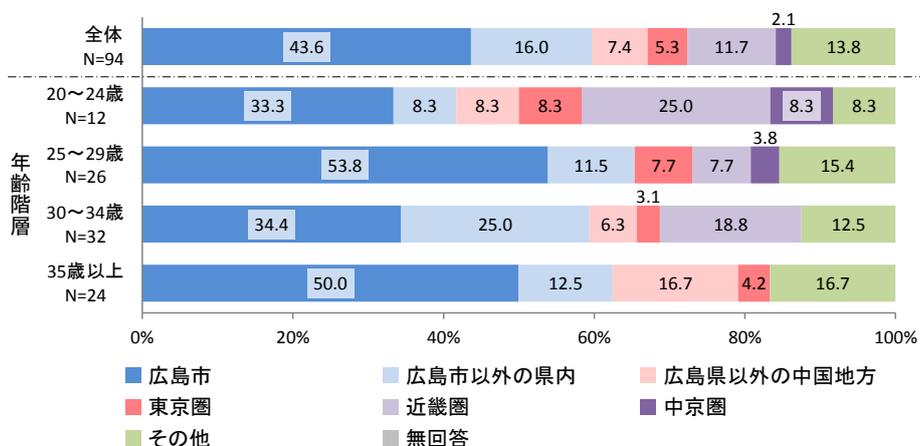


(2) 「転出する予定」または「転出したい」地域

(「転出する予定がある(帰って住むつもりはない)」, 「予定はないが、転出したい(帰って住むつもりはない)」とした人)

- 「広島市」が43.6%で最も高い
- 20~24歳で「東京圏」, 「近畿圏」, 「中京圏」の三大都市圏が41.6%と高い

図 「転出する予定」または「転出したい」地域 (20~39歳住民)

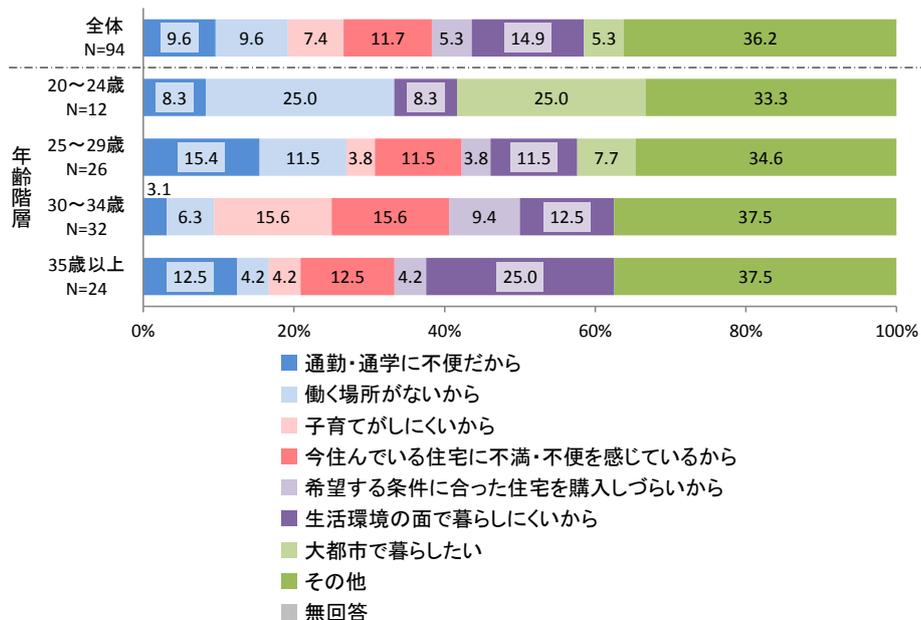


(3) 「転出される」または「転出したい」理由

(「転出する予定がある(帰って住むつもりはない)」, 「予定はないが、転出したい(帰って住むつもりはない)」とした人)

- 「その他」を除くと「生活環境の面で暮らしにくいから」が14.9%で最も高い
- 「その他」の理由としては「実家や地元に戻りたい」が13.8%と高い

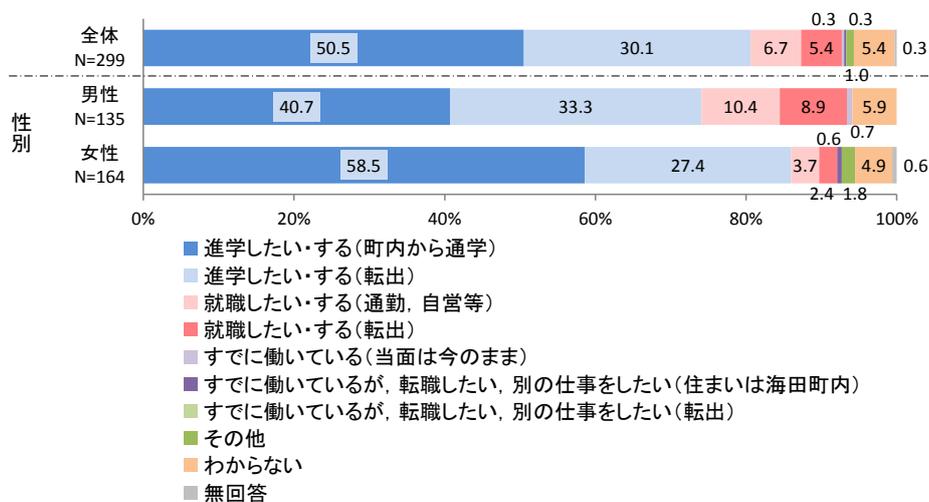
図 「転出される」または「転出したい」理由 (20~39歳住民)



(4) 高校生世代の今後の進路

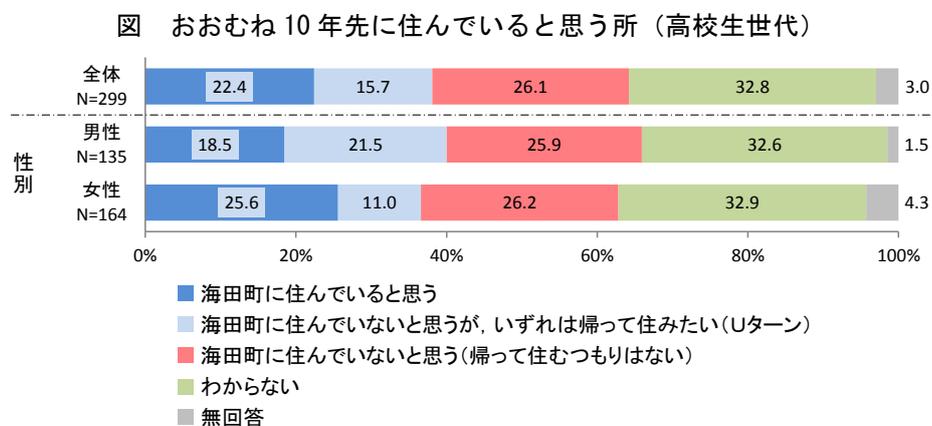
- 「進学したい・する(町内から通学)」が50.5%で最も高い

図 今後の進路 (高校生世代)



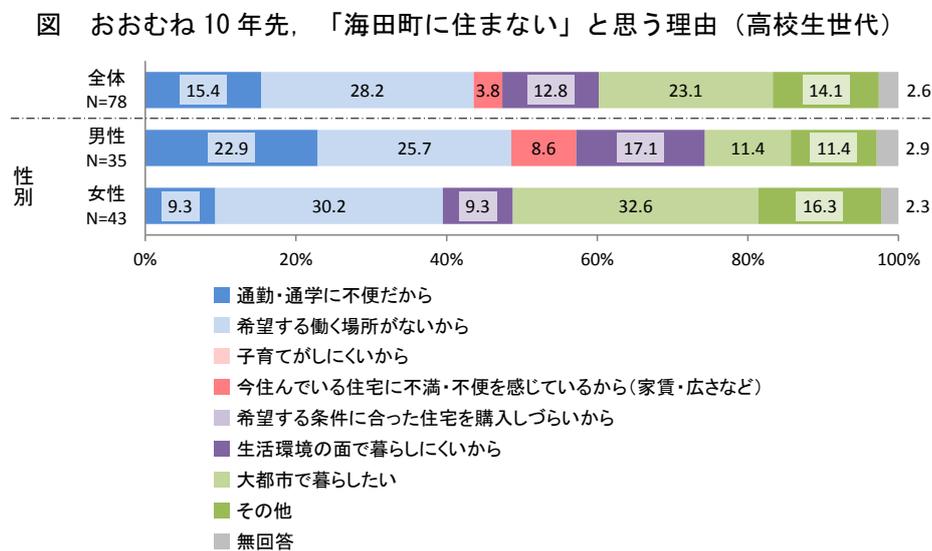
(5) 高校生世代のおおむね 10 年先に住んでいると思う所

- 「わからない」が 32.8%で最も高い
- 「海田町に住んでいると思う」は約 2 割にとどまっている



(6) 高校生世代のおおむね 10 年先, 「海田町に住まない」と思う理由
(「海田町に住んでいないと思う(帰って住むつもりはない)」とした人)

- 「希望する働く場所がないから」が 28.2%で最も高い
- 女性では「大都市で暮らしたい」が 32.6%で最も高い

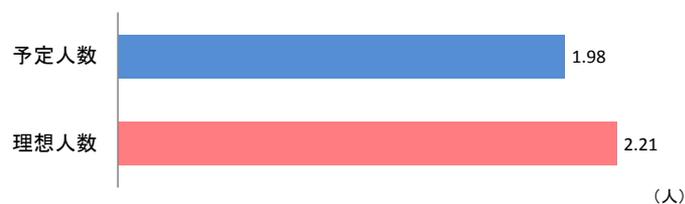


4 子どもの人数，子育てについて

(1) 20～39 歳住民の子どもの予定人数と理想人数の平均値

○子どもの予定人数と理想人数との差は 0.23 人

図 子どもの予定人数と理想人数の平均値 (20～39 歳住民)

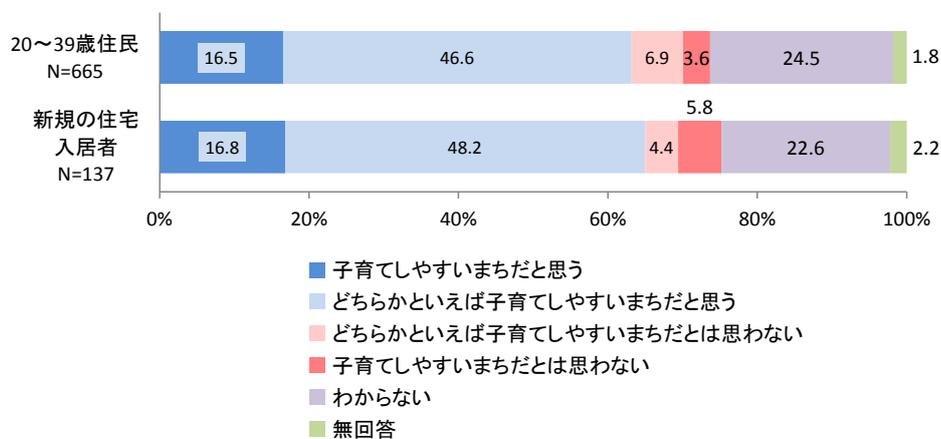


※「子どもはほしいと思わない」は0人としてカウントし、「その他」，「無回答」は対象外とした。

(2) 海田町は，子育てしやすいまちだと思うか

○共通して「子育てしやすいまちだと思う」と「どちらかといえば子育てしやすいまちだと思う」を合わせたプラス評価が6割以上

図 海田町は，子育てしやすいまちだと思うか

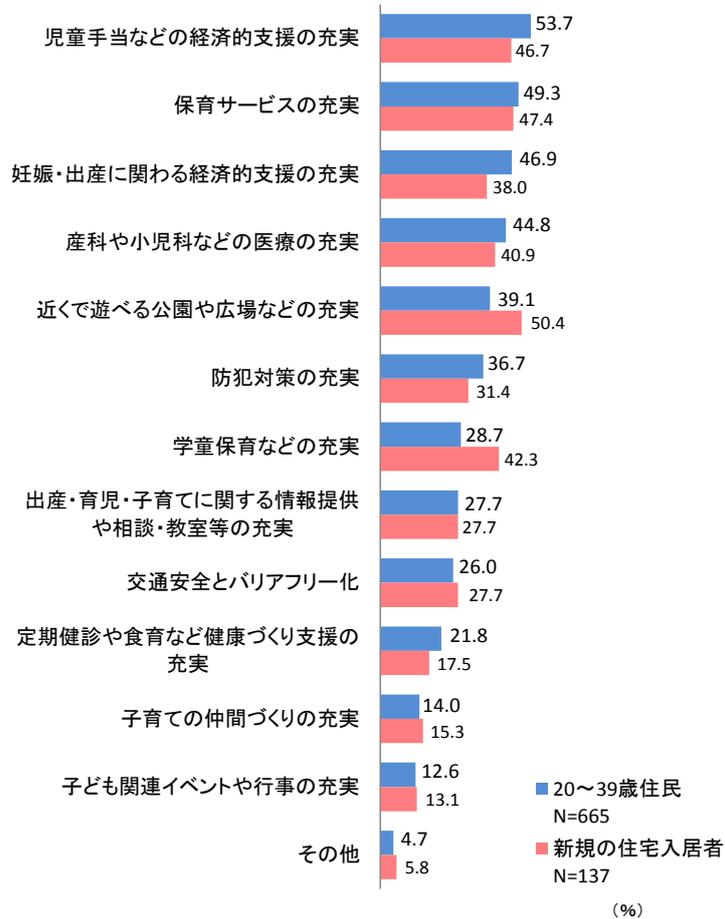


(3) より子育てしやすく、子どもを産みたいまちとなるために、必要だと思うこと

○20～39歳住民では、経済的支援に関する項目が高い傾向にある

○新規の住宅入居者では、子どもの居場所に関する項目が高い傾向にある

図 より子育てしやすく、子どもを産みたいまちとなるために、必要だと思うこと



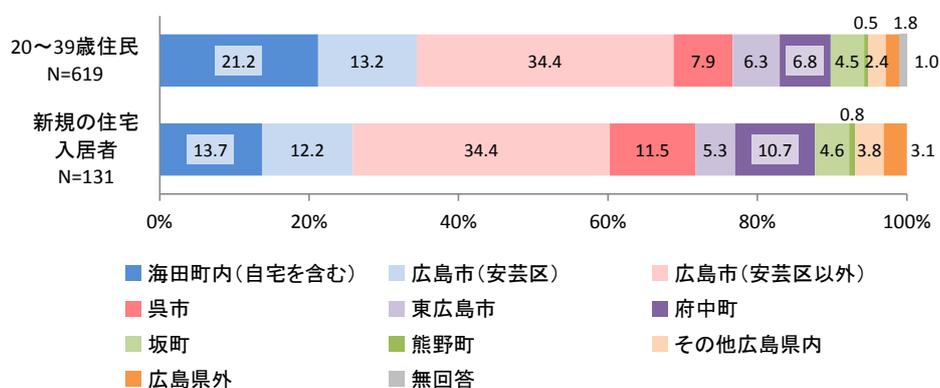
5 就労について

(1) 世帯主の勤務地

○共通して広島市への勤務が約半数

○海田町内での勤務は1～2割にとどまる

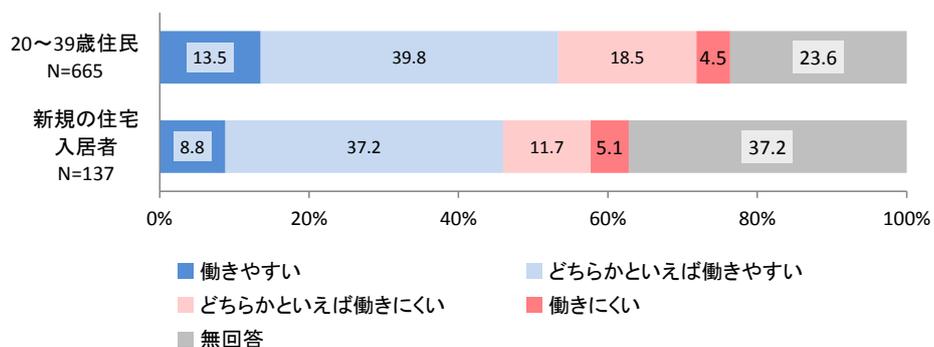
図 世帯主の勤務地



(2) 海田町内で働く場として、どう思うか

○共通して「働きやすい」と「どちらかといえば働きやすい」を合わせたプラス評価が約半数

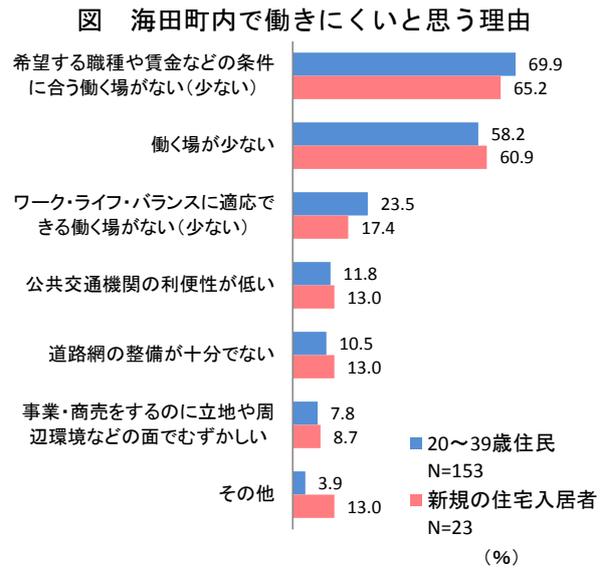
図 海田町内で働く場として、どう思うか



(3) 海田町内で働きにくいと思う理由

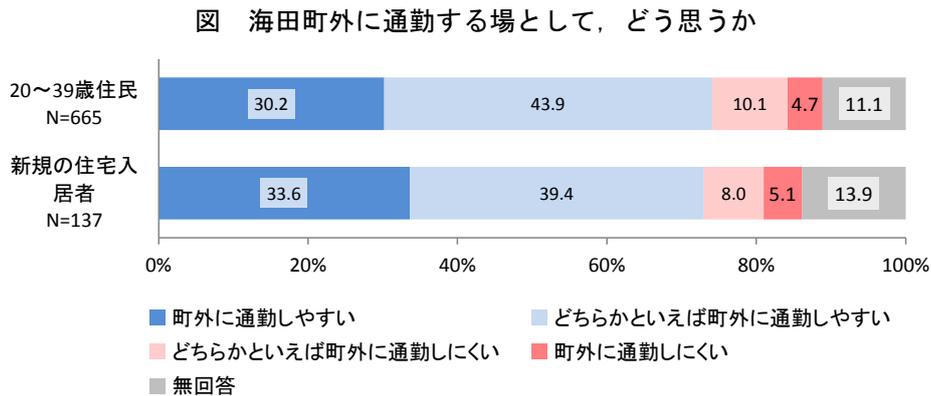
(「どちらかといえば働きにくい」, 「働きにくい」とした人)

- 共通して「希望する職種や賃金などの条件に合う働く場所がない(少ない)」が最も高い
- そのほかにも、「働く場所が少ない」も約6割と高い



(4) 海田町外に通勤する場として、どう思うか

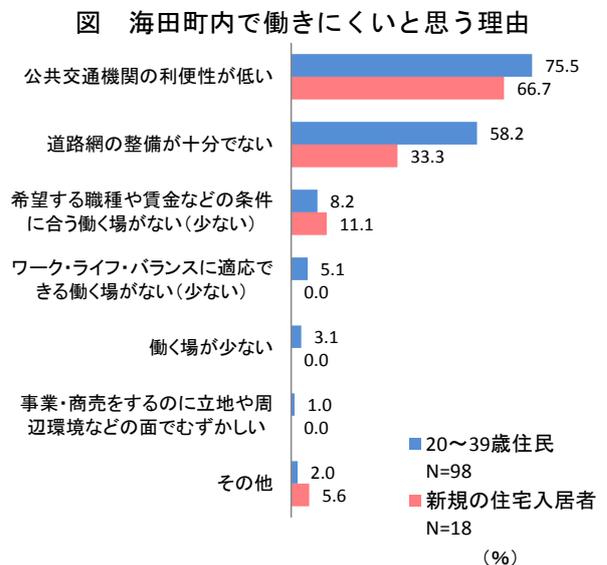
- 共通して「町外に通勤しやすい」と「どちらかといえば町外に通勤しやすい」を合わせたプラス評価が7割以上



(5) 海田町外に通勤しにくいと思う理由

(「どちらかといえば町外に通勤しにくい」, 「町外に通勤しにくい」とした人)

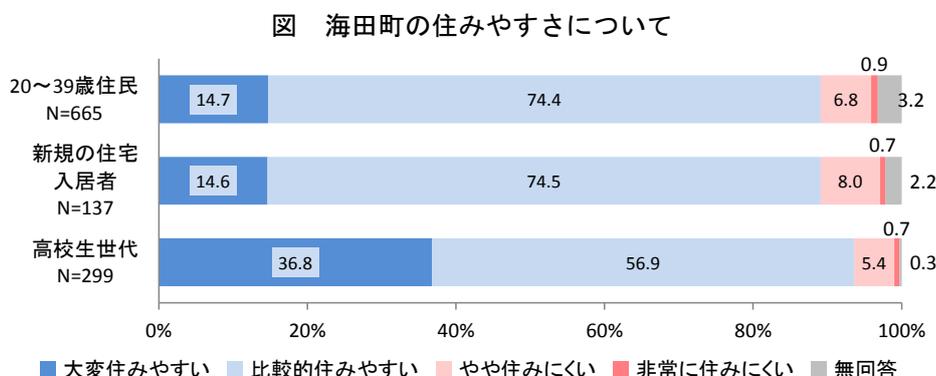
- 共通して「公共交通機関の利便性が低い」が最も高い
- そのほかにも、「道路網の整備が十分でない」も高い



6 海田町の住みやすさについて

(1) 海田町の住みやすさについて

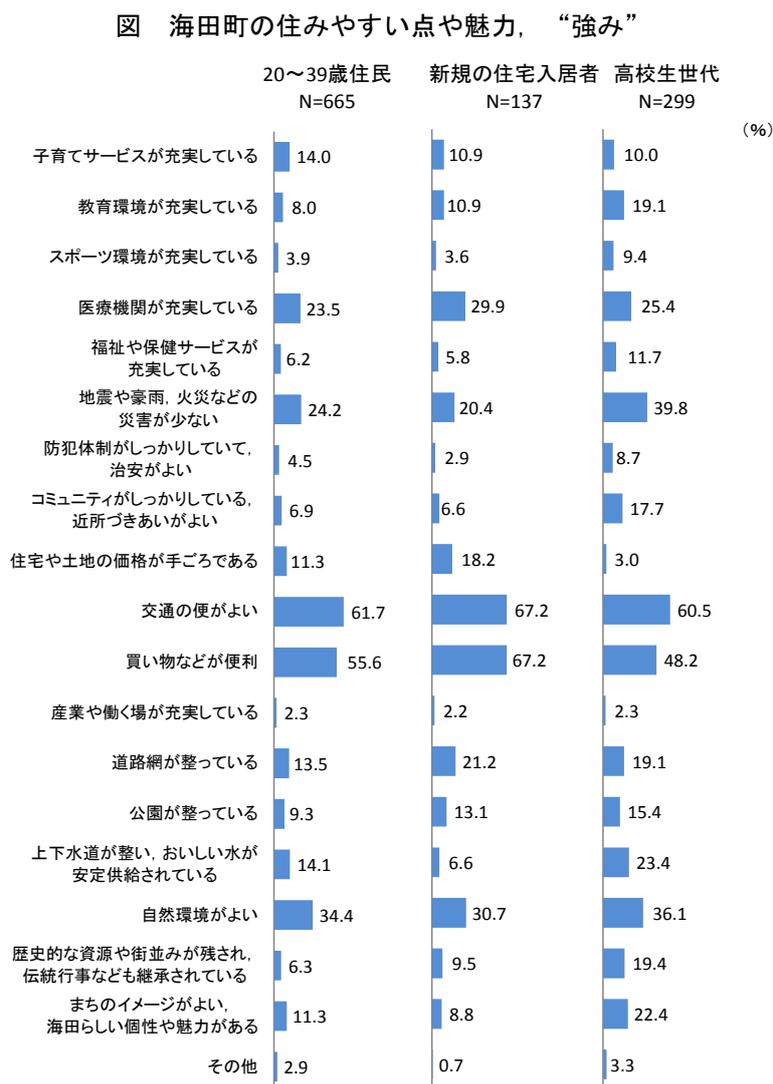
○共通して「大変住みやすい」と「比較的住みやすい」を合わせたプラス評価が約9割



(2) 海田町の住みやすい点や魅力, “強み”

○共通して「交通の便がよい」が最も高い

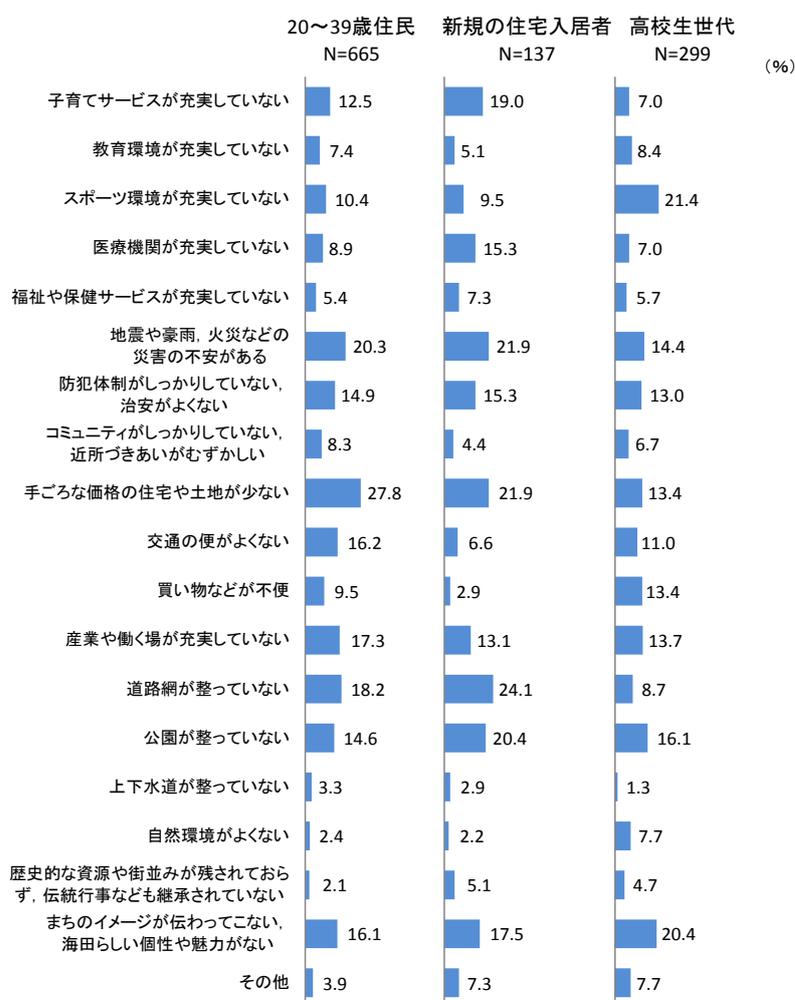
○そのほかにも, 「買い物などが便利」, 「自然環境がよい」も高い



(3) 海田町の住みにくい点や“弱み”

- 結果が分散している
- 20～39歳住民では「手ごろな価格の住宅や土地が少ない」が最も高い
- 新規の住宅入居者では「道路網が整っていない」が最も高い
- 高校生世代では「スポーツ環境が充実していない」が最も高い

図 海田町の住みにくい点や“弱み”



(4) 海田町が住み続けたい、帰ってきたい（Uターン）、住んでみたいまちになっていくために重要だと思うこと

- 共通して、「子育てしやすいまちづくりを進めること」が最も高い
- そのほかにも、20～39歳住民では「希望に合う住宅・宅地があること」が高い
- 新規の住宅入居者では「保健・福祉の充実したまちにしていこうこと」が高い
- 高校生世代では「海田町内に働く場所があること」が高い

図 海田町が住み続けたい、帰ってきたい（Uターン）、住んでみたいまちになっていくために重要だと思うこと

